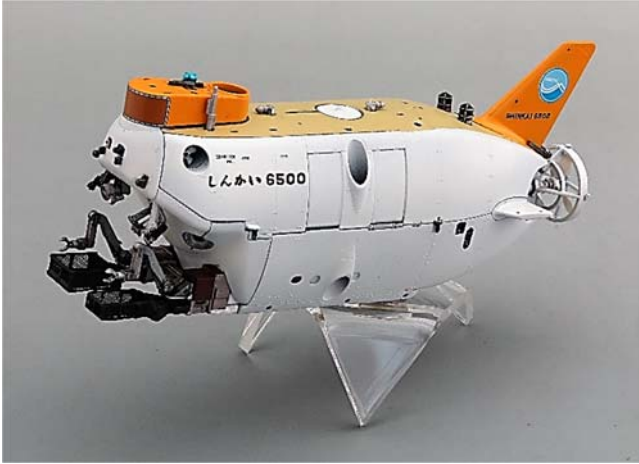


～しんかい 6500 深海調査艇 (Shinkai 6500)



←同スケールのスカイライン GTR と



日本の深海調査艇「しんかい 6500」です。パイロット2名、研究者1名の計3名を載せて、水深6500メートルまで潜ることができる調査艇で、日本近海だけでなく、ブラジル沖の大西洋でも海底調査を行ったことがあるようです。前面に触手が集中する外観は「メカゴジラ」ならぬ「メカダイオウグソクムシ」のようで、深海に適する形状があることがわかります。本機は、「しんかい 2000」の後継機として、1989年に三菱重工の神戸造船所で造艇され、2012年に艇尾の主推進器が大型の単体(この模型)から、左右2つの小型のもの改造されました。なお、しんかい 6500は、すでに艇齢が24年になろうとしており、後継の深海調査艇の建造が望まれています。特撮ファンには、映画「日本沈没」(1973年)の「わだつみ」や「ケルマデック」を思い出させるメカでもあります。

【模型について】

ハセガワ(Hasegawa)1/72のインジェクションキットです。同社からはこの単推進器バージョンと双推進器バージョンとが出ていますが、前者の方が強そうwなので、こちらを作りました。マニピュレータやセンサ類、観測窓などがうまい具合に別パーツになっていて、塗装が容易で、大変作りやすいキットでした(バンダイからも1/48が出てますが、テイストが似ているので、企画は共通?)。先端の回収カゴはメッシュで作りました。(中川裕幸 2023年11月、改定2024年7月)